

株主の皆様へ
第80期
中間事業報告書

自 平成28年 4月 1日
至 平成28年 9月30日

森下仁丹株式会社



株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第80期中間期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
駒村 純一

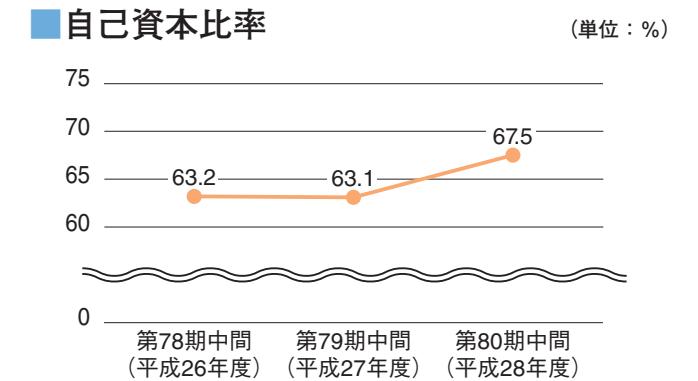
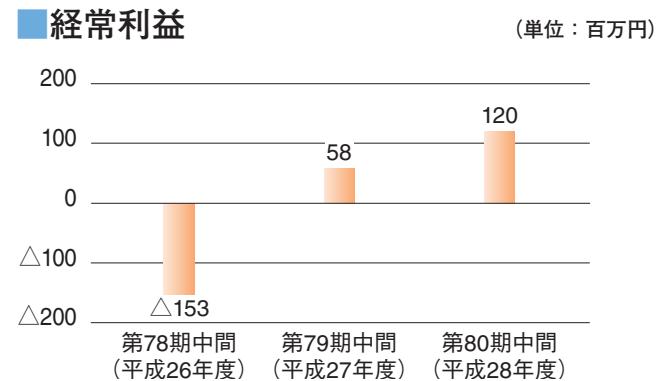
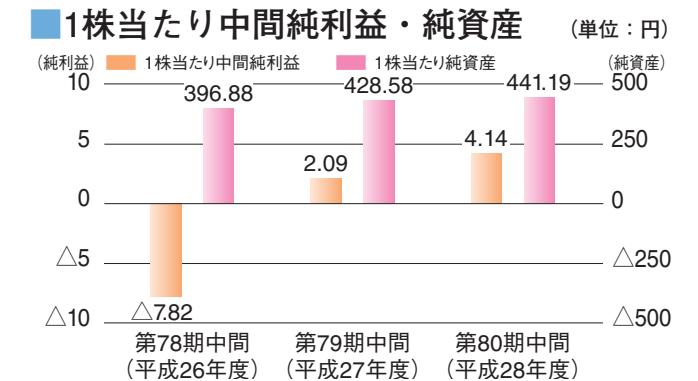
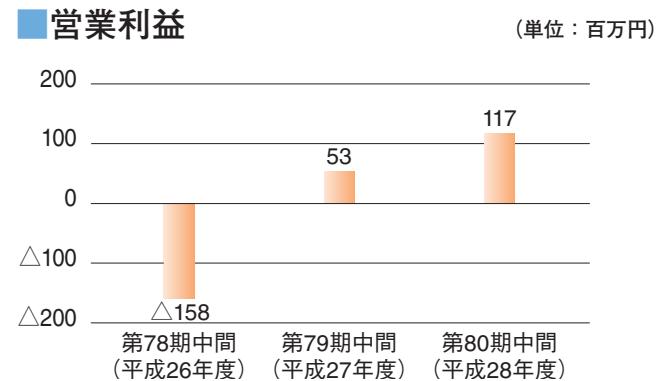
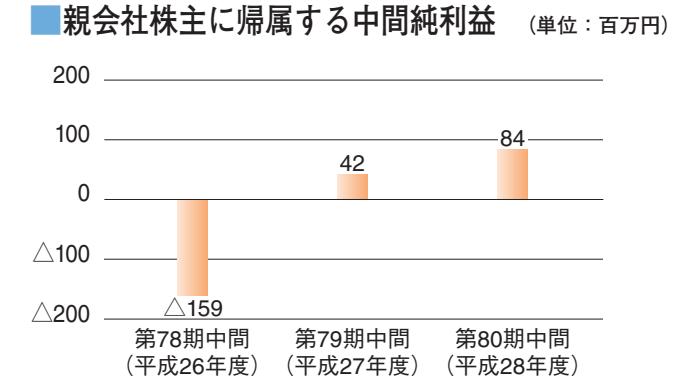
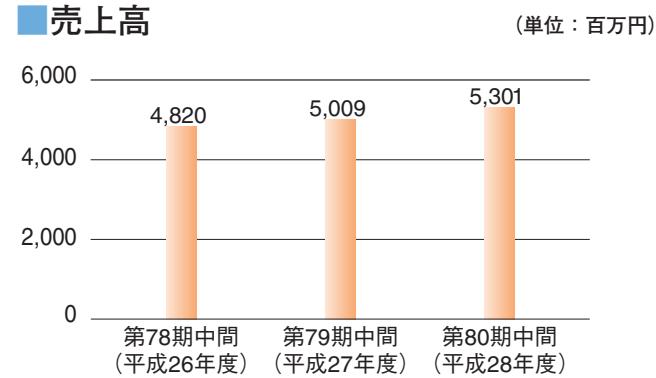
事業の概況について

当中間連結累計期間における我が国経済は、足踏み状態が続いておりますが、一部で持ち直しの動きもみられます。個人消費は、雇用者数の増加、物価上昇率の低下による実質雇用者所得の高い伸びを背景に持ち直しつつあります。また円高の影響などから輸出、設備投資は低調に推移していますが、消費税率引き上げ以降低迷が続いていた個人消費が2四半期連続で増加しております。

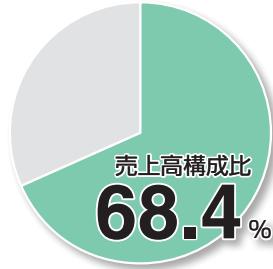
当社グループの属する業界も、健康意識の高まりが持続し、昨年4月より食品の新たな機能性表示制度が始まる等大きな変革期を迎えました。但し、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして昨年6月からの機能性表示食品「ヘルスエイド シリーズ」の新発売など積極的な諸施策・諸活動を展開しております。その結果、売上高は5,301百万円と前年同中間期と比べ292百万円の増収となりました。

利益面においては、コストダウン諸施策による原価率の低減により、売上総利益は2,711百万円と前年同中間期と比べ139百万円の増益となりました。また経費の効率化等に努めた結果、営業利益は117百万円と前年同中間期と比べ64百万円の増益となり、さらに営業外損益を加えた経常利益は120百万円と前年同中間期と比べ62百万円の増益となり、親会社株主に帰属する中間期純利益は84百万円と前年同中間期と比べ41百万円の増益となりました。

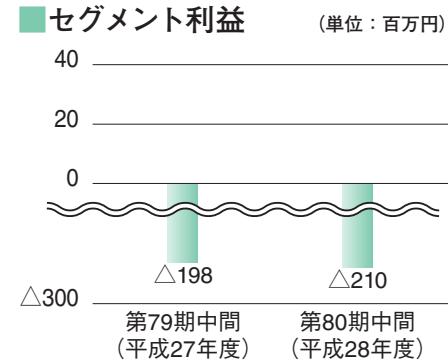
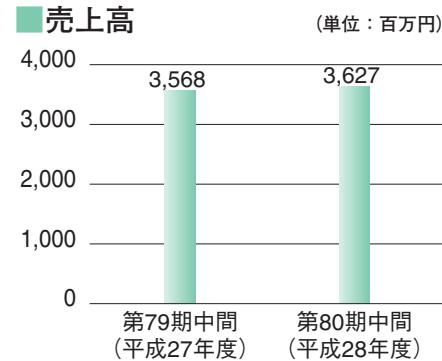


ヘルスケア事業



昨年6月からの機能性表示食品の新発売などにより売上は好調に推移しましたが、ヘルスケア事業の売上高は3,627百万円と前年同中間期と比べ58百万円の増収に留まりました。

損益面では、売上高が好調に推移する中、回転率の悪い商品を評価減するなど在庫の整理をした結果、セグメント損失は210百万円と前年同中間期と比べ12百万円の減益となりました。

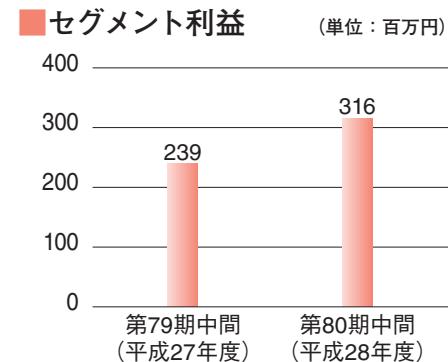
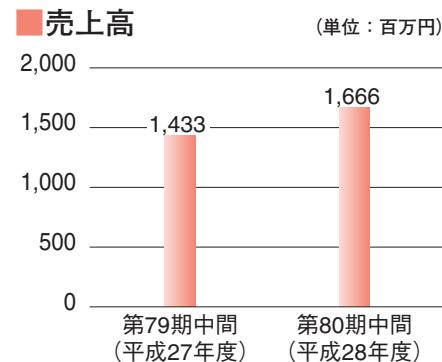


カプセル受託事業



フレーバーカプセルは引き続き順調に推移しました。その結果、カプセル受託事業の売上高は1,666百万円と前年同中間期と比べ233百万円の増収となりました。

損益面では、コストダウン諸施策による原価率の改善や効率的な研究開発投資に努めた結果、セグメント利益は316百万円と前年同中間期と比べ76百万円の増益となりました。



(注) 当期よりセグメントの製品区分を一部変更しています。
前中間期の数値は、変更後の区分に組替えて記載しております。

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間連結 会計期間 (平成28年9月30日現在)	前連結 会計年度 (平成28年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	4,873	4,809
固定資産	8,423	8,858
有形固定資産	6,024	6,274
無形固定資産	208	216
投資その他の資産	2,190	2,367
資産合計	13,297	13,668
負債の部		
流動負債	2,805	2,428
固定負債	1,517	2,105
負債合計	4,323	4,533
純資産の部		
株主資本	8,296	8,364
その他の包括利益累計額	677	770
純資産合計	8,973	9,134
負債・純資産合計	13,297	13,668

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
売上高	5,301	5,009
売上原価	2,590	2,437
売上総利益	2,711	2,572
販売費及び一般管理費	2,593	2,518
営業利益	117	53
営業外収益	23	15
営業外費用	19	10
経常利益	120	58
税金等調整前中間純利益	120	58
法人税、住民税及び事業税	41	21
法人税等調整額	△4	△5
中間純利益	84	42
親会社株主に帰属する中間純利益	84	42

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	639	307
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317	△251
現金及び現金同等物の増減額	184	△80
現金及び現金同等物の期首残高	1,586	1,500
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,770	1,420

TOPICS 7 新製品のご紹介

【金田油店】×【森下仁丹】
創業100年以上老舗同士のコラボ

えごま油を閉じ込めた
新感覚のカプセルオイル「ぷちえごま」

2016年11月11日(金)新発売



【内容量】30包
【価格】3,000円(税抜)
1日1~3包を目安にお召し上がりください。

【BLESS COFFEE】×【森下仁丹】
東京のこだわりコーヒー店とのコラボ

新商品
「サラシア珈琲」が
機能性表示食品として
届出受領されました

2017年3月頃発売予定



【内容量】1000ml
【価格】2,250円(税抜)
1日1杯(200ml)を目安にお召し上がりください。



カラダへの機能が表示された
サプリメントブランド「ヘルスエイド」に
機能性表示食品
「DHA&EPA(ディーエイチエーアンドイーピーエー)」
を追加!

2017年2月頃発売予定



【内容量】90包
【価格】4,400円(税抜)
1日1包を目安にお召し上がりください。

TOPICS 2 ビフィズス菌を高含有する
腸溶性シームレスカプセルに
ついての特許権取得について

当社は、当社独自技術であるシームレスカプセル技術を用いて、ビフィズス菌や乳酸菌等の菌粉末をカプセル化する技術開発を行っておりますが、そのカプセル内のビフィズス菌粉末の含有量を飛躍的に向上させた腸溶性シームレスカプセルについての特許権を取得いたしました。

当社は長年に亘る研究の成果といたしまして、胃酸に弱いビフィズス菌や乳酸菌を腸溶性のシームレスカプセルに封入し、プロバイオティクスサプリメントとして販売を行っております。

今回特許を取得した技術は、これまでの腸溶性の機能を担保したまま、カプセル中の菌粉末含有量を飛躍的に向上させることを可能にするものです。この技術を用いることで、サプリメントとして摂取する際のカプセルの量を減らすことが可能となり、飲みやすさの改善や少量のカプセルで効果が得られる商品の開発など、商品開発の応用範囲の更なる拡充が期待されます。

今後、当社は本特許の菌粉末高含有化技術を用いて、商品の開発や改良を進めて参ります。

TOPICS 3 アンチエイジングの「今」が分かる一大イベント
アンチエイジングフェアin台場にて
当社社長 駒村純一が「機能性表示食品」についての
パネルディスカッションに登壇
ブース出展・セミナー開催

様々な健康チェックができるブース出展と
腸内フローラなどを学べるセミナーを実施

当社は、2016年9月22日(木・祝)~25日(日)にフジテレビジョンにて開催された「アンチエイジングフェア in 台場~アシア・キレイ・ゲンキ~」に協賛し、ブース出展と特別セミナーを開催しました。

出展ブースでは、どなたでも簡単にできる腸のタイプチェックや体組成などが分かる健康チェックコーナーを設け、当社のサプリメントブランド「ヘルスエイド」の商品を展示し、機能性表示食品「ビフィーナ®」のサンプリングを実施しました。また特別セミナーは、話題の腸内フローラや美と健康のための腸マッサージ・食事など、アンチエイジングにまつわる様々な話題をテーマに実施しました。

また、機能性表示食品制度の普及を図るパネルディスカッションに当社社長の駒村が登壇し、同制度に関する様々な情報を発信しました。



役員

代表取締役社長	駒村純一	監査役	澤田 侑己
取締役名誉会長	森下美恵子	監査役	石原真弓
取締役	上村秀人	常務執行役員	目黒一夫
取締役	齋藤洋一	常務執行役員	森田真司
取締役	森下雄司	執行役員	表真匡
監査役(常勤)	高田真一		

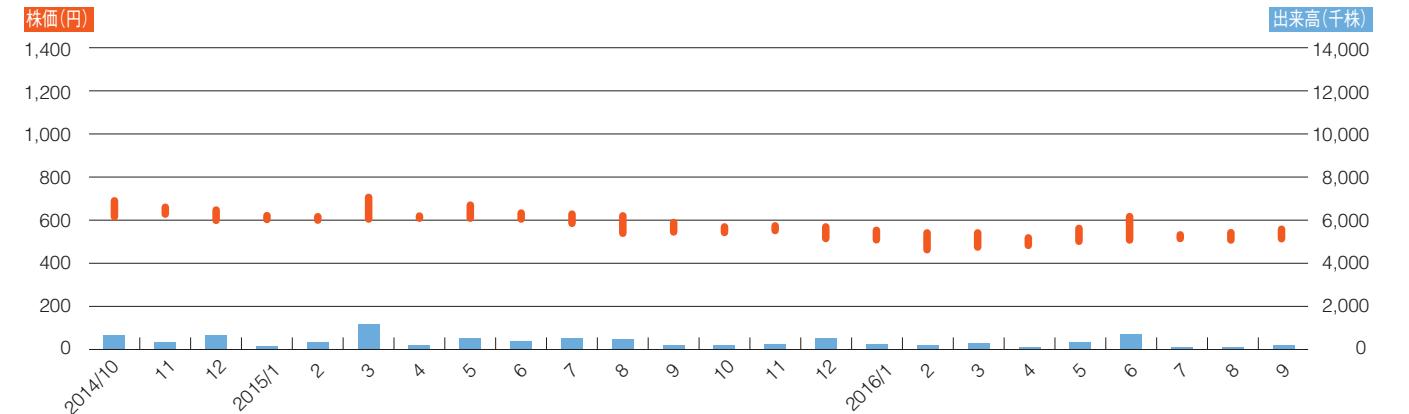
(注) 1. 取締役のうち齋藤洋一氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役のうち澤田侑己、石原真弓の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

商号 森下仁丹株式会社 MORISHITA JINTAN CO., LTD.
資本金 35億3,740万円

事業の内容 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、食品および雑貨等の製造販売
事業所および工場

本社	大阪市中央区玉造一丁目2番40号	電話(06)6761-1131(代表)
大阪テクノセンター	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話(072)800-1040
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話(0749)48-7370
長浜工場	滋賀県長浜市小野寺町字下寺70番7	電話(0749)74-8500
東京オフィス	東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F	電話(03)6206-8138

株価および出来高推移



株主メモ

事業年度末日 3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

(中間配当を行う場合 毎年9月30日)

定時株主総会 毎年6月

公告の方法 電子公告 (<http://www.jintan.co.jp>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告に公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

電話(通話料無料) 0120-094-777

当社ホームページのご案内

当社WEBサイトで各種情報を公開しております。
是非一度ご覧ください。

<http://www.jintan.co.jp>



▲ トップページ



▲ IR情報